



長野県神社庁報 第106号

平成20年1月1日 発行：長野県神社庁 庁報発行委員会・庁報編集委員会
(長野市箱清水1-6-1 電話026-232-3355 FAX026-233-2720)



8月10日神門前集合写真



神酒拝戴



手水

8月9・10日靖國参拝旅行

8月10日の靖國神社参拝の様子。
44名の中・高生が参拝しました。
今年で第6回目の参拝となります。
(関連記事5頁から)



目 次	
日誌抄	2
年頭の辞	齋藤 吉仁 4
年頭の御挨拶	行田増次郎 4
〔特集〕「子供の参拝旅行」	
靖国参拝の前に	山崎 洋文 5
靖国神社参拝	「子供の感想文」 8
お伊勢まいり	「作文コンクール受章作品」 11
	「第14回子供参宮団募集」
「伊勢の神宮と日本人」	
「いのちと血統の連続」	伴 五十嗣郎先生 12
神宮大麻表彰・新任神職の横顔	16
寄附者顕彰・辞令	17
決算報告・災害救助慰積決算書	18
謹賀新年	19
お伊勢さん初まいりのご案内	23

日誌抄

(平成十九年七月～十二月)

七 月

二日 支部長会
五日 理事会
六日 任命辞令伝達式
十日 庁報編集委員会
十日 祭祀舞研修会

※教：教化部の略
※大麻：神宮大麻の略

十四～十五日 雅楽研修会



十八～十九日 教養研修会



八 月

一日 浦安の舞研修会

十九日 神政連臨時本部長会
二十日 教・青少年対策推進委員会
二十七日 第七十一回定例協議委員会

十九日 兼任神職祭祀研修会
十九～二十日 初任神職研修会【前期】
二十日 教・祭祀委員会
二十三日 教・教化委員会
二十四日 人事諮問委員会
三十～三十一日 教・調査委員会

三日 神政連県本部役員会
大麻・曆頒布向上推進委員会
七～八日 教・調査委員会
支部長懇談会
当番 上小支部
九～十日 靖国神社正式参拝とTDLの旅





九 月

- 三日 理事会
- 三〇七日 東海地区中堅神職研修会
- 六〇七日 東海地区中堅神職研修会 並参事会
- 十二日 神殿例祭



- 十三日 任命辞令伝達式
 - 十六日 大麻・暦頒布モデル支部 対策担当者会議 於 神宮
 - 十七日 大麻・暦頒布始祭並秋季 推進会議 於 神宮
 - 十八日 神社庁長会
- 十月
- 一日 人事諮問委員会
 - 四日 教・役員会
 - 五日 大麻・暦頒布委員会
 - 於 本社本庁臨時評議員会 於 本庁

十二月



- 十二日 大麻・暦頒布始祭
- 十八日 階位證並任命辞令伝達式 庁報編集委員会
- 二二〇三三日 県内紅葉会 当番 戸隠神社
- 三十日 第六十二回県連合大会



十一月

- 二日 大麻暦頒布委員会並 指定神社合同打合せ会
- 七日 教・祭祀委員会
- 九〇十日 東海五県神社庁長参事会
- 十四日 階位證並任命辞令伝達式
- 十六日 敬神婦人連合会総会



- 二六日 氏子総代研修会 (南信)
- 二六〇二七日 東海五県紅葉会 当番 静岡県
- 二七日 教・青少年対策推進委員会
- 二八日 氏子総代研修会 (中信)

十二月

- 一日 大麻頒布活動研修会 於 犀川神社 (長野支部)
- 八日 大麻頒布活動研修会 於 縣諏訪神社 (上小支部)



- 二十日 第五三回伊勢神宮 新穀感謝祭 理事支部長合同会議



年頭の辞

長野県神社庁 庁長 齋藤 吉仁



献奉壽春。大神の大前に謹んで御家運の御隆昌と、愈々の御多幸を祈念致します。
天皇皇后両陛下におかれましては、御機嫌麗しく新年をお迎えになられ、日々御公務に御精励遊ばされておられますこと、私共の最も慶賀に存じ上げるところで御座居ります。

昨年中は庁務推進に対し種々御高配を賜り、ありがとうございました。本年も相変わらずの御指導御協力の程お願い致します。
さて、本年は平成十八年十一月九日に設立されました、伊勢神宮式年遷宮奉賛会長野県本部が、それぞれの奉賛支部に御依頼申し上げました募財目標額の達成に、日々奔走をいただき、既に完納の支部もあり誠に心強く以後の募財活動にも、大いに御期待を申し上げます。



年頭の御挨拶

長野県神社総代会 会長 行田 増次郎



佳人 吉祥の 新春を言祝く
健やかに新年を お迎えになられたこととお喜び申し上げます
内外共に非常に多難な年を送り本年こそ明るく希望に輝く平成の御代となりますよう皆様と共に念じたいもの

であります。
本年は長くも天皇陛下におかれましては踐祚二十周年をお迎えになられます。
年頭にあたり皇室のいよいよのご繁栄ご隆盛を祈念申し上げる次第であります。

我国の麗しい二十年に一度の神宮式年遷宮の重儀に思いを致し、更に一九九一年となって募財活動に盡己努めて参りたいと存じますので、何卒御立場お立場で、御協力の程を、伏してお願い申し上げます。

数年前、東京の日本武道館で開催されました神社大会で、今はなき、故高円宮様の御言葉の中に、『古来からの神社神道は、日本人の生き方の根本をなすものに深く関わりを持つ、日本民族の祭り文化は、日本の心である。』と仰せになりました。

私は神社奉仕に携わる者として、家の宝、国の宝、である子供達の精神的支柱としてこの「お言葉」を自分なりの言葉で伝えてゆく秋と深く思うのであります。

本年は神社庁にとりまして意義深く大事な一年と成る事と存じます。皆様方には、御健康に充分留意されまして、神祭りの道にお励み下さいますようお願い申し上げます。

加えて平成二十五年に斎行される伊勢神宮式年遷宮は国民等しく祝福申し上げます。

県下神社総代挙げて神宮様の御神威に背くことなく心一にして奉賛を懇願いたしたく存じます。

日本は「衣食足りて礼節を知る」どころではなく「衣食足りてますます衣食を求める」国と成り果ててしまった、しかしまだ遅くない 国民一人一人の誇りが是非とも必要である。

誇りをなくした人間には倫理も道徳も礼節もないからである。と藤原正彦先生は論じています。

今こそ神道に生きる幸せを感じ生み育んだ『日本の心』に思いを致し、より多くのご神徳を仰ぎ穏やかな凜とした平和な氏子でありますよう念願しつつ年頭のご挨拶いたします。

靖國参拝の前に

〔バス内学習の報告書〕

元青少年対策推進委員長

山崎洋文

十九年度も八月九・十日の両日にわたり保尊委員長をはじめ、青少年対策推進委員の皆さんのご尽力により、中・高校生対象の靖國神社参拝旅行が行われました。四十四名の参加で、六回目となります。私もバス内学習係として同行させていただきました。

平成十二年(紀元二六六〇年)に始まった時より延べおよそ二百五十人の参加を数えることとなります。

小・中学生の子供参宮旅行が軌道に乗りはじめた頃、中・高校生を対象に靖國参拝を行ったかどうかという提案がありました。高校生というおとなに近い目線でものを考えられる子供たちに正しい史観を踏まえて案内をするという事は大変難しいことでした。学校での授業内容とのかなりの隔たりがあったからです。

初回の時点では幸いにも私の長男が高校生であったこともあり、その高校の吹

靖國参拝旅行 行程表

期 日	行 程	食 事
8月9日	長野県内各地 (6:00~8:00) ==〈長野道・中央道〉== 高井戸 IC ==〈首都高速〉== (13:00) 東京ディズニーランド (22:00 / パレード終了後出発) =〈首都高速〉= (22:30) ホテル着	朝: × 昼: ○ 夜: ○
8月10日	(8:30) ホテル = (9:00) 靖國神社〔正式参拝〕遊就館〔見学〕 (12:00) = (12:30) 国会議事堂・議員会館〔見学〕 (15:30 頃) ===〈首都高速〉= 高井戸 IC =〈中央道〉〈長野道〉= (19:00~20:30) 長野県内各地	朝: ○ 昼: ○ 夜: ×



